

マルチサイエンス 発表会用 ルーブリック 〈生徒用〉

項目	評価基準 各5点				
	5点	4点	3点	2点	1点
① 提示資料	文字やグラフの大きさ・配色・配置等が適切で、極めて見やすい。	文字やグラフの大きさ・配色・配置等が適切である。	文字やグラフの大きさ・配色・配置等がおおむね適切である。	文字やグラフの大きさ・配色・配置等がやや不適切である。	文字やグラフの大きさ・配色・配置等が不適切で見にくい。
② 時間	規定時間±15秒である。	規定時間±30秒である。	規定時間±1分以内である。	規定時間±1分30秒以内である。	規定時間±1分30秒以上である。
③ 発表態度	声が大きく適切な速度で、原稿に頼らず堂々と発表している。	一部原稿を参照する場面も見られるが、聴衆の反応を確認しながら聞き取りやすい発表をしている。	半分程度は原稿を見ており、声の大きさや話す速度はおおむね適切である。	ほとんどの場面で原稿やスライドを読み上げており、声の大きさや速度も不適切なところがある。	終始原稿やスライドを読み上げており、発表も聞きづらく、自信や意欲が感じられない。
④ 質疑応答	全ての質問に的確に答えており、説明も専門的・論理的である。	質問への応答がおおむね的確であり、内容も専門的・論理的である。	質問に答えているが情報が不足しており、想定外の内容には答えに窮することがある。	質問に答えようとはしているが、情報が著しく不足しており、的確に答えられていない。	何も答えられない。 「今後の課題とします。」
⑤ SDGs	SDGsの観点から課題を積極的に解決しようとしている。	5には満たないがSDGsの観点から課題を解決しようとしている。	SDGsの観点から課題を解決しようとしているが、不十分な面がある。	SDGsの観点から課題を解決する姿勢が見られない。	SDGsの観点が入っていない。
⑥ 研究の充実	目的や仮説に基づいて具体的な計画を立てており、検証方法や実験などに創意工夫が見られる。データの分析も適切で論理的に考察している。	5には満たないが目的や仮説に基づいて研究計画を立てており、検証方法や実験を工夫している。結果に基づいた考察もできている。	目的や仮説は述べられているが、設定理由や検証の意義をより明確にする必要がある。結果に基づいた考察がおおむねできている。	目的や仮説が述べられているが、設定した理由や検証する意義が不明瞭である。結果に基づいた考察もあまりできていない。	目的や仮説が述べられておらず、研究目的も不適切である。考察も主観にすぎない。